

ドラム缶等の運搬容器による燃料の貯蔵等

様式第 1 号

別紙③

震災時等の危険物仮貯蔵又は仮取扱い実施計画書

○○年△月□□日	
下北地域広域行政事務組合 消防長 様	
届出者 住所 青森県下北郡大間町大字○○字○□番地△ 氏名 ○○ ○○	
危険物	貯蔵取扱い場所 青森県下北郡大間町大字○○字○□番地△ ○○工場東側空地
	所有者等の住所・氏名 住所 青森県下北郡大間町大字○○字○□番地△ 氏名 □○ □○ 電話○○○—○○○—○○○
	仮貯蔵仮取扱いに使用する場所の面積・構造等 屋外・屋内 建築面積 m ² 敷地面積 約 360 m ² (15 m × 24 m) 敷地又は建築物の概要 ○○工場東側空地 (コンクリート舗装)
	類別・品名・数量 第4類 第一石油類 (ガソリン) 3,000L 指定数量の 15倍
仮貯蔵仮取扱いの目的	震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属携行缶への詰替えを行い、仮設の燃料補給拠点として利用するため必要な事項を予め計画するものである。
仮貯蔵仮取扱いの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 200Lの金属製容器 (ドラム缶) にて貯蔵する。 ・ 保有空地を6m確保する。 ・ 貯蔵場所と詰替え場所に6mの離隔をとる。 ・ 高温になることを避けるため通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設置する。また、取扱場所において、危険物が長時間炎天下にさらされないようにする。 ・ 標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。 「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」
安全対策及び消火設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドラム缶本体、給油に使用するドラムポンプのアースを確保する。 ・ 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。 ・ 危険物を取扱う者は、静電安全靴を着用する。 ・ バリケードを立て空地を確保する。・ 第5種消火設備 10型粉末消火器3本を設置する。
※受付欄	※整理番号

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 届出者が法人にあってはその名称、代表者氏名及び事務所の所在地を記入すること。
 - 3 その他必要な図面等を添付すること。
 - 4 危険物の貯蔵取扱いに際しては、危険物取扱者免状を保有した現場管理責任者を定めること。
 - 5 ※印欄は、記入しないこと。

ドラム缶等の運搬容器による燃料の貯蔵等

